

<10月> 応援金申請額計算書

酒類製造免許又は販売業免許を所持しており、
営業時間短縮要請に応じた飲食店と直接・間接のいずれかの取引があるか

はい

手順1へ

いいえ

手順2-Aへ

手順1 酒類販売事業者枠の応援金申請額の計算

※□のいずれかをチェックしてください

A: □2019年10月売上 □2020年10月売上	B: 2021年10月の売上	C: 10月の売上減少額	D: 10月の売上減少割合
		A-B	C/A×100

↑ 個人事業者で白色、主たる収入を雑・給与所得で確定申告した方 年間事業収入を12で除した金額を記載ください(1円未満切り捨て) 小数点以下切り捨て

①15%未満 交付対象外

②15%以上 30%未満	E: □2019年9月売上 □2020年9月売上	F: 2021年9月の売上	G: 9月の売上減少額	H: 9月の売上減少割合
		E-F	G/E×100	

↑ 個人事業者で白色、又は主たる収入を雑・給与所得で確定申告した方 年間事業収入を12で除した金額を記載ください(1円未満切り捨て)

小数点以下切り捨て

Hが15%未満 交付対象外

Hが15%以上

③30%以上50%未満

C又は上限額(中小法人:20万円 個人事業者:10万円)のいずれか低い金額

④50%以上70%未満
⑤70%以上90%未満
⑥90%以上

C: 10月の売上減少額	10月の月次支援金の交付額(申請額)	I: 10月の売上減少(調整後)
	□200,000(法人) □100,000(個人)	

※月次支援金が交付されていることが条件となります

I又は減少割合毎の上限額、いずれか低い金額

X: 10月酒類販売事業者枠申請額

上限額	④→Dが50%以上70%未満の場合	中小法人 20万円	個人事業者 10万円
	⑤→Dが70%以上90%未満の場合	中小法人 40万円	個人事業者 20万円
	⑥→Dが90%以上の場合	中小法人 60万円	個人事業者 30万円

申請書(7ページ)の「5申請額」②に転記してください

③(30%以上50%未満)に該当し、Cの売上減少額が上限額(中小法人:20万円、個人事業者:10万円)を超えている場合は 手順2-Bへ

手順2 一般枠の応援金申請額の計算

※□のいずれかをチェックしてください

J: □2019年10月売上 □2020年10月売上	K: 2021年10月の売上	L: 10月の売上減少額	M: 10月の売上減少割合
		J-K	L/J×100

↑ 個人事業者で白色、青色(農業所得用)又は主たる収入を雑・給与所得で確定申告した方 年間事業収入を12で除した金額を記載ください(1円未満切り捨て)

小数点以下切り捨て

①30%以上50%未満 L又は上限額(N)のいずれか低い金額

②30%未満、又は50%以上 交付対象外

上限額(N) 中小法人 15万円 個人事業者 7.5万円

O又はNのいずれか低い金額

手順2-A

C: 10月の売上減少額	X: 10月の酒類販売事業者枠申請額	O: 売上減少額(調整後)	Y: 10月一般枠申請額

手順2-B

申請書(7ページ)の「5申請額」①に転記してください